

## 応募票の記入要領

### 研究題目

主題を60文字以内(あれば副題も含む。)に設定してください。

### 研究期間

当該研究の開始年月・終了年月(または終了予定年月とし、未定のときは年度末)を記入してください。(例年研究期間の記入漏れが散見されますのでご注意ください。)

### 助成金振込み先

- ① 通帳を確認し、間違いの無いよう記入してください。  
特に口座の名義が学校・団体の場合、**通帳名義の通り**学校名・団体名・代表者名等を正確に記入してください。(銀行名・支店名が統廃合等によって変更されている場合がありますので、ご注意ください。)
- ② 学校研究の場合、振込み先は**学校の口座**としてください。(個人名義は不可)
- ③ 口座名義には必ず**フリガナ**を記入してください。
- ④ 推薦団体より贈呈される場合があります。

### 推薦団体検印欄

応募票に記入後、推薦団体宛に応募作品と共にご提出ください。  
(その後、各推薦団体が検印後 当財団へ送付されます。)

※本応募を通してお寄せいただいた皆様の情報は、当財団の助成事業に係わる業務に必要な範囲内で利用させていただき、その他の目的に利用することは一切ありません。

公益財団法人 **東京海上日動教育振興基金**

〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16

日動火災・熊本県共同ビル

TEL 03-5537-6375 FAX 03-3573-0177

(<http://www.tmn-kyoiku-sinko-f.org>)

## 第41回 (2024年度)

## 教育研究助成 応募要項

### ● 目的

公益財団法人東京海上日動教育振興基金(2009年10月に名称変更)は、日動火災海上保険株式会社(現東京海上日動火災保険株式会社)の創業70周年を記念して1984年8月に設立されました。

当財団は、次代を担う青少年が心身ともに健やかに育ち、生きる力を身に付けることを願い、初等中等教育に携わる教職員の熱意・研鑽に溢れる教育研究成果に対する助成を通じて、教育の発展と充実に寄与したいと考えております。

学校教育の現場において意欲的に取り組み、創意に溢れた指導によって顕著な成果を収めておられる実践的な教育研究に対し助成を行いますので、積極的なご応募をお待ちしております。

### ● テーマ

応募していただく「テーマ」は任意であり特定しておりません。創意工夫し研究・実践した作品をお寄せください。

近年応募されたものでは、「授業・指導方法の工夫・改善」、「道徳」、「総合的な学習の時間」などの他、「コロナ禍の対応」や特色ある学校作りを目指した「地域社会・企業と学校との連携」、「SDGs」、「働き方改革」など、教育をめぐる諸情勢に対応した様々な分野にわたる課題への取り組みが寄せられております。

2023年度対象作品から、それぞれの地域・学び手に即した優秀な取組みを「実践事例選」として刊行し、あわせまして当財団ホームページにも掲載しております。多くの皆様にご一読いただければ幸甚です。応募に際しての参考としてご活用ください。

● 当財団の助成が意欲ある教職員の励みとなり学校活性化の一助となれば誠に幸いです。

公益財団法人 **東京海上日動教育振興基金**



## 募集概要

### 募集区分

学 校 研 究	80校	助成金	1校	15万円贈呈
団 体 研 究*	10団体	助成金	1団体	15万円贈呈
個 人 研 究	20名	助成金	1名	7万円贈呈

助成対象となる研究論文の中で、それぞれの地域・学び手に即する優れた取り組みが認められる作品(数作品)については、助成金10万円を追加で贈呈します。

※団体とは、教職員が構成する恒常的に設置されている研究団体とします。

### 対象者の範囲

国公立の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校ならびにそこに勤務する教職員

### 応募方法

- ① 研究論文には「応募票」を添えてご提出ください。  
(記入要領は裏面および別紙記入例を参照)  
「応募票」および記入例は当財団のホームページからも印刷できます。
- ② 下記の団体の推薦を受けたものを応募として受付し選考します。  
推薦団体は都道府県によって異なりますので、推薦団体をご不明な場合は、弊財団にお問い合わせください。
  - 都道府県および政令指定都市の教育委員会
  - 都道府県の国公立の小学校・中学校・高等学校の校長会
  - 公益財団法人日本教育公務員弘済会の一部の都道府県支部
- ③ 上記②の推薦団体を経由して研究論文をご提出ください。  
(インターネットからの応募はできませんのでご注意ください。)

### 推薦団体から財団への締め切り

2024年10月20日財団必着(推薦団体の締切日とは異なるのでご注意ください。)

### 選 考

当財団の選考委員会で選考します。

### 発 表

2024年12月中旬(推薦団体と応募者宛てに採否を直接ご通知します。)

### 助成金の贈呈と使途報告

2024年12月中旬に指定の口座に振り込みます。(合わせて表彰状を贈呈します。)  
助成金の使途については、別途「使途報告書(領収証添付)」により2025年3月までにご報告いただきます。(報告用紙は助成の決定通知と共にお送りします。)

## 応募の取りまとめに当たって

### 応募の要点

- ① 募集区分の如何にかかわらず、学校教育の中で子ども達のために取り組まれている実践的な教育研究であること。
- ② 「文字数は最大10,000字程度」、「である調」で簡潔に記述してください。  
記述は、以下を参考にしてください。
  - 表紙 一枚目 (研究題目・目次・学校名または団体名・氏名を明記する。)
  - 研究の主旨、対象者(学年・クラスなど)
  - 研究の内容、方法
  - 具体的な指導とポイント
  - 研究・実践の成果
  - 今後の課題、その他

文字数は10,000字程度  
(表紙部分を除き)

◎A4判で、パソコン・ワープロ・手書きいずれも可  
◎特殊な専門用語や独自にネーミングした用語には必ず説明を加えてください。  
◎CD-ROM・USBメモリー等による応募は受け付けません。  
◎ファイルに入れたり、立派な表紙をつけることは避けてください。
- ③ 添付資料は研究論文に関連したものだけとし、極力少なく(A4版2~3枚限度)してください。

### 注意事項

- ①
  - 提出された研究論文および添付資料は返却しません。
  - 提出された研究論文および添付資料のうち、助成対象となるものについては、著作権(著作権法第27条、第28条に規定される権利を含みます。)は当財団に譲渡されます。
  - 追加で助成金を贈呈した研究論文(数作品)については、「実践事例選」として刊行します。「実践事例選」刊行に際し、論旨に反しない範囲で研究論文および添付資料を編集することがあります。
- ② 実践研究の研究期間が古い作品は、応募をご遠慮ください。
- ③ 研究中のものでも結構ですが、研究予定または着手したばかりのものは次回に応募くださるようお願いします。
- ④ 2年連続の応募はご遠慮ください。(前年度に助成を受けた学校・団体・個人)
- ⑤ 原則として、1学校1作品とさせていただきます。
- ⑥ 他の団体に応募したもの(いわゆる重複のものは)は応募できません。
- ⑦ 助成対象となった研究論文については、「主要な研究成果」(300文字程度)をご提出いただきます。(報告要領は助成の決定通知と共にお送りします。)  
「主要な研究成果」は弊財団ホームページに掲載します。